

防火部門－研究協議会

避難安全のバリアフリーデザイン

9月13日(水) 13:30～17:00 総合研究3号館 共通155室

司会 萩原一郎(東京理科大学)

副司会 村井裕樹(日本福祉大学)

記録 河合邦治(建築研究所)

1.主旨説明 関澤 愛(東京理科大学)

2.主題解説

①誰もが安心して過ごせる医療施設の避難安全計画

八木真爾(佐藤総合計画)

②安心して預けられる保育施設の避難に必要なハードとソフト

佐野友紀(早稲田大学)

③集会施設の避難安全バリアフリーをどのようにデザインするか

土屋伸一(明野設備研究所)

④施設管理、防火管理からみた避難安全のバリアフリーデザイン

柏木修一(セコム)

⑤避難安全のバリアフリーデザインの普及に向けての課題

吉村英祐(大阪工業大学)

3.討論

4.まとめ 原田和典(京都大学)

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」等を背景に、高齢者・障害者等のアクセシビリティは近年大きく改善され、劇場、美術館などの公共性の高い建物をはじめ、百貨店や事務所ビルにおいても、高齢者・障がい者等の利用者が増えている。しかし、これらの法令の視野は日常的な行動に限られており、火災等における避難について十分とは言えない。こうした今日の社会状況を踏まえれば、高齢者・障がい者等の避難行動要支援者のアクセシビリティの進展に応じた避難手段の確保は必ずしも十分とは言えず、喫緊の課題となっている。

これらに対応するため、防火委員会傘下の避難安全のバリアフリーデザイン小委員会では、これまでに避難行動要支援者が多く存在する医療施設および保育施設におけるバリアフリーデザインの手引きを刊行し、現在は不特定多数を対象とした集会施設等における手引きの編集を進めている。

本研究協議会では、避難安全のバリアフリーデザインに関して、自力避難困難者が多数在

館する医療施設における避難を可能にする待避スペース(避難支援スペース)の計画、中高層ビル内設置を含む保育施設における年齢に合わせた介助避難、不特定多数が利用する集会施設等において顕在化する避難時バリアへの対応等、最新の事例等を踏まえて専門家や施設管理者からの報告をいただき、今後の避難安全のバリアフリーデザインの普及に関して議論を深めるとともに課題を明らかにしていきたい。